



2025年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年1月8日

上場会社名 株式会社天満屋ストア 上場取引所 東
 コード番号 9846 URL <https://www.tenmaya-store.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野口 重明
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 國府 慎一郎 (TEL) 086-232-7265
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年2月期第3四半期の連結業績(2024年3月1日~2024年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期第3四半期	43,634	0.4	1,661	7.3	1,770	8.0	1,134	33.6
2024年2月期第3四半期	43,468	1.7	1,548	△6.3	1,638	△3.0	849	△17.7

(注) 包括利益 2025年2月期第3四半期 1,215百万円(34.9%) 2024年2月期第3四半期 901百万円(△15.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年2月期第3四半期	98.82	—
2024年2月期第3四半期	73.81	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年2月期第3四半期	43,144	25,924	60.0
2024年2月期	42,752	24,849	58.0

(参考) 自己資本 2025年2月期第3四半期 25,886百万円 2024年2月期 24,812百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年2月期	—	5.00	—	5.00	10.00
2025年2月期	—	7.00	—	—	—
2025年2月期(予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年2月期の連結業績予想(2024年3月1日~2025年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	58,700	0.2	2,400	5.4	2,500	4.7	1,200	104.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、【添付資料】 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項「(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2025年2月期3Q	11,550,000株	2024年2月期	11,550,000株
2025年2月期3Q	66,731株	2024年2月期	66,731株
2025年2月期3Q	11,483,269株	2024年2月期3Q	11,503,852株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後さまざまな要因により、予想数値と異なる場合があります。業績予想に関する事項につきましては、【添付資料】 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善され、個人消費も上向くなど緩やかな回復基調となりました。しかしながらエネルギー価格や原材料価格高騰による物価上昇に加え、為替相場や地政学リスクの高まりなどが国内経済に与える影響として懸念されるほか、相次ぐ値上げの影響による消費者の節約志向や堅実志向が強まり先行き不透明な状況が続いております。

このような厳しい環境において、当社グループは、営業力の強化と収益力の向上に取り組むとともに、危機管理やコンプライアンスの徹底によるコーポレート・ガバナンスの強化に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の営業収益(売上高及び営業収入)は436億34百万円(前年同四半期比0.4%増)、営業利益は16億61百万円(前年同四半期比7.3%増)、経常利益は17億70百万円(前年同四半期比8.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は11億34百万円(前年同四半期比33.6%増)となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

(小売事業)

小売事業につきましては、相次ぐ値上げの影響を受けた生活防衛意識の高まりへの対応として安さがより分かりやすく伝わるようEDLPを絞り、価格強度を高めるために「超得」の売価設定の見直しや「セブンプレミアム」の拡充及び拡販に取り組みました。また創業55周年企画として食料品・生活用品・衣料品の特別商品の拡販や子育て世代のお客様の生活支援として新たな販促策「子育て応援の日」を導入するなど新規顧客の獲得と更なる売上獲得に取り組んでまいりました。さらにAIを活用したレジシフト自動作成システム(人時の適正化)導入店舗の拡大や自動発注の精度向上により生産性向上に努めるとともに、レジ混雑緩和を目的としたフルセルフレジ設置店舗数を拡大し、ストレスなくお買物ができる環境整備と利便性向上に取り組んでまいりました。また既存店舗の活性化として9月に円山店(岡山市中区)、11月に落合店(岡山県真庭市)を改装し、より見やすく買い回りのしやすい店舗にリニューアルいたしました。このほかに地元高校とタイアップした商品の販売イベントの開催や地元大学の食品ロス削減プロジェクトに参加するなど地域との協働にも取り組んでまいりました。さらに従来のペットボトル回収機に加え、アルミ缶回収機の設置店舗を拡大することで環境に配慮した取り組みを行い、持続可能社会の実現に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の小売事業の営業収益は377億65百万円(前年同四半期比0.1%減)、営業利益は13億63百万円(前年同四半期比1.5%増)となりました。

(小売周辺事業)

小売周辺事業につきましては、惣菜等調理食品の製造販売が主なものであり、引き続き徹底した品質管理と衛生管理に努めるとともに、商品開発の強化や生産性の向上に取り組んでまいりました。また、4月には株式会社三好野本店の高速道路サービスエリア運営事業を株式会社でりかエッセンが承継いたしました。同月に児島店において株式会社でりかエッセンが運営するレストランを新たに「三好野レストラン児島店」及び「三好野珈琲児島店」として改装オープンするなど、グループシナジーの創出に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の小売周辺事業の営業収益は58億69百万円(前年同四半期比3.3%増)、営業利益は2億97百万円(前年同四半期45.5%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ3億92百万円増加し、431億44百万円となりました。これは主に、建物及び構築物が3億80百万円減少したものの、売掛金が3億74百万円、現金及び預金が2億3百万円増加したことなどによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ6億82百万円減少し、172億20百万円となりました。これは主に、預り金が9億11百万円増加したものの、長期借入金が11億19百万円、短期借入金が5億74百万円減少したことなどによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ10億74百万円増加し、259億24百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、概ね計画どおり推移しておりますので、2024年10月9日公表の業績予想からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	708,293	911,536
売掛金	1,642,227	2,016,516
商品	1,710,478	1,777,934
貯蔵品	23,432	30,636
その他	1,698,796	1,854,202
流動資産合計	5,783,228	6,590,827
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,460,883	10,080,022
土地	14,343,668	14,361,418
その他(純額)	1,992,693	2,052,818
有形固定資産合計	26,797,245	26,494,259
無形固定資産		
のれん	499,037	466,013
その他	2,463,632	2,547,318
無形固定資産合計	2,962,670	3,013,331
投資その他の資産		
差入保証金	1,632,469	1,540,819
敷金	3,331,501	3,234,943
その他	2,257,325	2,282,562
貸倒引当金	△12,400	△12,200
投資その他の資産合計	7,208,897	7,046,125
固定資産合計	36,968,813	36,553,716
資産合計	42,752,042	43,144,543

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,721,324	3,531,296
電子記録債務	415,939	461,481
短期借入金	4,543,458	3,968,720
未払法人税等	521,945	241,369
賞与引当金	110,779	20,839
資産除去債務	15,125	—
その他	3,245,290	4,928,469
流動負債合計	12,573,862	13,152,176
固定負債		
長期借入金	1,125,799	6,000
役員株式給付引当金	45,803	54,128
利息返還損失引当金	5,697	2,884
退職給付に係る負債	1,277,865	1,198,917
資産除去債務	410,201	415,615
長期預り保証金	65,525	54,357
長期預り敷金	1,684,916	1,634,573
その他	712,636	701,350
固定負債合計	5,328,445	4,067,827
負債合計	17,902,307	17,220,004
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,697,500	3,697,500
資本剰余金	5,347,750	5,347,750
利益剰余金	15,836,880	16,833,107
自己株式	△77,883	△77,883
株主資本合計	24,804,247	25,800,474
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	100,537	163,544
退職給付に係る調整累計額	△91,791	△77,713
その他の包括利益累計額合計	8,745	85,831
非支配株主持分	36,740	38,234
純資産合計	24,849,734	25,924,539
負債純資産合計	42,752,042	43,144,543

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年3月1日 至2023年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年3月1日 至2024年11月30日)
売上高	41,070,067	41,192,717
売上原価	29,066,087	29,363,639
売上総利益	12,003,979	11,829,077
営業収入	2,398,495	2,442,161
営業総利益	14,402,474	14,271,238
販売費及び一般管理費	12,853,773	12,609,917
営業利益	1,548,701	1,661,320
営業外収益		
受取利息	2,042	1,838
受取配当金	53,144	55,553
協賛金収入	10,101	12,125
補助金収入	58,201	38,929
その他	12,341	31,210
営業外収益合計	135,831	139,657
営業外費用		
支払利息	36,151	27,277
その他	10,122	3,567
営業外費用合計	46,273	30,845
経常利益	1,638,259	1,770,133
特別利益		
固定資産売却益	—	20,825
特別利益合計	—	20,825
特別損失		
固定資産除却損	60,703	32,324
減損損失	235,113	—
店舗閉鎖損失	—	45,708
支払補償費	—	9,650
特別損失合計	295,816	87,682
税金等調整前四半期純利益	1,342,442	1,703,276
法人税等	489,003	564,557
四半期純利益	853,439	1,138,719
非支配株主に帰属する四半期純利益	4,301	3,893
親会社株主に帰属する四半期純利益	849,138	1,134,825

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年3月1日 至2023年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年3月1日 至2024年11月30日)
四半期純利益	853,439	1,138,719
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	23,149	63,006
退職給付に係る調整額	24,807	14,078
その他の包括利益合計	47,956	77,085
四半期包括利益	901,395	1,215,804
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	897,094	1,211,910
非支配株主に係る四半期包括利益	4,301	3,893

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用の計算については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結結果計期間(自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)

1 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

	報告セグメント(千円)		合計(千円)	調整額(千円)	四半期連結 損益計算書 計上額(千円) (注)1
	小売事業	小売周辺事業			
営業収益					
食料品	32,679,946	5,558,147	38,238,094	—	38,238,094
生活用品	738,351	—	738,351	—	738,351
衣料品	2,027,853	—	2,027,853	—	2,027,853
その他	545,171	123,757	668,928	—	668,928
顧客との契約から生じる収益	35,991,322	5,681,905	41,673,228	—	41,673,228
その他の収益	1,795,334	—	1,795,334	—	1,795,334
外部顧客への営業収益	37,786,657	5,681,905	43,468,562	—	43,468,562
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	130,089	1,823,895	1,953,984	△ 1,953,984	—
計	37,916,747	7,505,800	45,422,547	△ 1,953,984	43,468,562
セグメント利益	1,344,221	204,479	1,548,701	—	1,548,701

(注) 1 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2 営業収益は、売上高及び営業収入の合計額であります。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

報告セグメントごとの固定資産の減損損失の計上額は、「小売事業」235,113千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)

1 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

	報告セグメント(千円)		合計(千円)	調整額(千円)	四半期連結 損益計算書 計上額(千円) (注)1
	小売事業	小売周辺事業			
営業収益					
食料品	32,849,261	5,769,108	38,618,369	—	38,618,369
生活用品	702,589	—	702,589	—	702,589
衣料品	1,808,684	—	1,808,684	—	1,808,684
その他	636,598	100,555	737,153	—	737,153
顧客との契約から生じる収益	35,997,133	5,869,663	41,866,797	—	41,866,797
その他の収益	1,768,080	—	1,768,080	—	1,768,080
外部顧客への営業収益	37,765,214	5,869,663	43,634,878	—	43,634,878
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	124,927	1,359,653	1,484,581	△ 1,484,581	—
計	37,890,141	7,229,317	45,119,459	△ 1,484,581	43,634,878
セグメント利益	1,363,769	297,551	1,661,320	—	1,661,320

(注) 1 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2 営業収益は、売上高及び営業収入の合計額であります。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)
減価償却費	1,134,290千円	1,096,288千円
のれんの償却額	61,442千円	33,024千円